

## 9月の主な行事

9月3日（土）土曜利用日

9月8日（木）工賃支給日

## 火災の避難訓練実施 有事に備え通報訓練も行う



中木所長の講評を聞く利用者さんたち（写真上）  
通報を行う鈴木主任（写真右）



「8月25日 午前10時25分 だての郷厨房から、調理中、てんぷら鍋の油にコンロの火が引火し火災が発生しました！！」。火災発生を伊達地方消防本部に119番通報、それと同時に利用者さんを安全な場所に避難誘導させるという設定で、通報と避難訓練を行いました。

消防本部から年2回通報訓練が義務付けられ、今回はその第1回目です。職員がそれぞれの役割に付き、当日、スムーズに訓練を行うことができました。こうした避難訓練は、毎月1回、地震や火災、水害を想定し、有事の際の利用者さんの命を守る使命を持って行っています。

## 8月生まれ 誕生者を祝う

8月5日に、8月生まれ利用者さんの誕生会を開きました。みんなで♪ハッピーバースデーを歌って誕生者を祝い、中木所長からお祝いの言葉と誕生日祝い品のプレゼントがありました。誕生者の皆さんからは、これからの抱負が述べられました。大橋治子さんが乾杯の発声を行い、みんなでケーキと飲み物をいただき、誕生者をお祝いしました。



正面に整列した8月生まれの皆さん



桃を受け取りに行った両施設利用者代表



梅津センター長さん（写真右）から桃を受け取る利用者代表の佐藤利彦さん

## JAふくしま未来様から 今年も桃いただく

モモの出荷が本格的になってきた7月、今年もJAふくしま未来桃生産部会様から、だての郷とほどはら授産所にモモをご寄贈いただきました。この紙面を借り、改めて御礼申し上げます。

7月14日、保原幼稚園に両施設の利用者さん代表が出向き、モモをいただいてまいりました。ほどはら授産所からは高橋康太さん（上の写真左）に行き来ていただきました。頂戴したモモはその日の午後、帰りの会でみなさんにお渡しし、ご自宅で召し上がっていただきました。

8月2日には、JAふくしま未来保原営農センター長の梅津英幸さんが、ほどはら授産所にお越しになり、モモの寄贈がありました。こちらはその日の給食のデザートとして、JAの皆様、生産農家の皆様に感謝しながら、みんなでおいしくいただきました。

### 食育コラム



給食委託業者の㈱メフォス福島支店佐藤係長さんから今年度2回目の食育コラムです。食と健康は密接につながっています。このコラムを読んで、健康づくりにお役立てください。

## 実りいっぱい食欲の秋



株式会社メフォス福島第一事業部  
福島支店第2課係長 佐藤 久美

豊かな時代において、いくつか食べられないものがあったとしても、栄養面に大きな問題が出るわけではありません。しかし、より多くの種類のものを食べることができればもっと様々な栄養素を摂取できる可能性が増えますね。秋はいろいろな作物が収穫を迎えています。

秋の味覚／さつまいも・新米・さんま・里芋・かき・ごぼう・きのこ・栗・りんご等・  
美味しい旬の食材をご家庭でもたくさん取り入れてください。また、新米の季節でもあります。お米には、たんぱく質、ビタミン、脂肪といった体を作る源になる栄養分がたくさん含まれています。特にでんぷんは、体内でブドウ糖に変化し、脳を活性化させる働きをします。朝ごはんをしっかり食べて元気に一日を過ごしましょう。



災害時には、ライフラインや物流が停止し食料品が手に入らなくなる場合もあるので、各家庭で非常食や備品を備えておく必要があります。

農林水産省では、ライフラインの復旧に1週間以上要するケースが多くみられるため、最低でも3日分から1週間分の家族人数分の備えを呼び掛けています。この機会に見直しをしてみましょう。余談になりますが、コロナ感染による自宅療養の際にこの備蓄食品は大いに役に立つものと思います。ぜひご準備を！

## シリーズ 作業班訪問③ 手工芸班

作業班の活動の様子をご紹介します作業班訪問、今月は手工芸班の皆さんです。

手工芸班の作業は、刺し子布巾の制作、トイレトペーパーの包装、温泉旅館のタオル袋詰め、完成品を納品して売り上げを得ています。



手工芸班全員集合



刺し子、温泉タオル入れ、トイレトペーパー包装作業に取り組む手工芸班の皆さん

皆さん毎日意欲的に仕事を頑張ってくださいています。

私たちの作業は、温泉タオルの袋詰め作業・トイレトペーパーの販売・刺し子ふきんの作成販売を行っています。また、他の班が忙しいときには手伝いに行く事もあります。

タオルの仕事は、コロナウイルス以前の頃に戻つつあり、毎日忙しくそして楽しく作業に取り組んでいただいていると感じております。

トイレトペーパーにつきましては、リピータの方々の購入も増えてきており、ありがたく思います。

刺し子ふきんにおきましては、毎日コツコツと素敵な作品を刺しております。この2年間あぶくま祭の開催がなかった分在庫を抱えておりますが、こちらも保護者の方々や近隣の方々に購入していただいております。ありがたいです。

これからも皆様方のご支援を受けながらみんなで力を合わせがんばって行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。  
(手工芸班担当：管野富江生活支援員)

<お知らせ>次回10月号は、最終回 農耕園芸班の皆さんです。お楽しみに。

# 両施設保護者会合同役員会開く



役員会であいさつする池田会長(写真中央)

8月31日、両施設保護者会の役員の方々に参集いただき、合同役員会を開きました。

主な議題は、毎年秋に行うあぶくま祭の開催と、給食費自己負担についてです。あぶくま祭が今年開催できるかどうか、役員の方々のご意見を聞いたところ、全員がこの新型コロナ変異株の感染者増で今年も開催見送りの決定をしました。また、平成29年度から社会福祉充実計画により給食費を法人負担で賄ってきましたが、計画終了に伴い次年度から元に戻って自己負担となることについて施設側から説明、役員の皆さんから一定の理解を得ました。

## 4回目のワクチン接種行う



今野先生の問診を受ける利用者さんと保護者さん

8月10日、伊達市新型コロナ感染対策課のご高配により、ほどはら授産所とだての郷利用者さんへの第4回目のコロナワクチン接種を受けることができました。

当日は、前回同様だての郷を会場に、梁川病院の今野院長先生に来ていただき接種を行いました。前会場の遅れから少々待ち時間がありましたが、接種が始まってからはスムーズに行うことができました。

現在県内で新型コロナ感染者が高止まり傾向で、毎日2000人台になっています。皆様には引き続き感染予防に努められますよう、お願い申し上げます。

## 施設空調設備工事スタート

今年度事業計画で、施設空調設備の更新を行うことになっており、9月下旬から工事の準備に入ります。施設空調老朽化に伴う工事です。日中の支援に支障のないよう行うことになっています。

**編集後記 /** ▼今年の夏は、市内各地で3年振りに夏の行事、お祭りや盆踊り、花火大会などが開かれました。新聞の見出しやニュースで「3年振りに開かれ・・・」等と報じられ、ウイズコロナを意識しながら、各種行事を行っているようですが、油断はできませんので、今回の両施設保護者会合同役員会の「あぶくま祭中止」は妥当な判断だったと思います。もう1年様子を見て、感染防止をし過ぎるくらいでないと防げないと思っています。皆様のご協力よろしくお祈いします▼真夏に比べると陽が短くなりました。職場から帰る頃、本当に暗くなったなあと思います。日が短くなるようにコロナ感染者も右肩下がりに少なくなるというのですが、これからインフルエンザの流行期に第8波が来ると言っている先生もいます。各自予防接種を打って、重症化しないようにしたいものです▼食欲の秋、秋に食べたい食材をテーマにメフォス佐藤さんからコラムを寄せていただきました。これを読んで、食事からの健康づくりをぜひ実践してください▼秋販売の花苗生育中です。花市はありませんが、ぜひお求めください。あわせて10月1日の保護者会奉仕作業、お世話になります。よろしくお祈いします。(M)